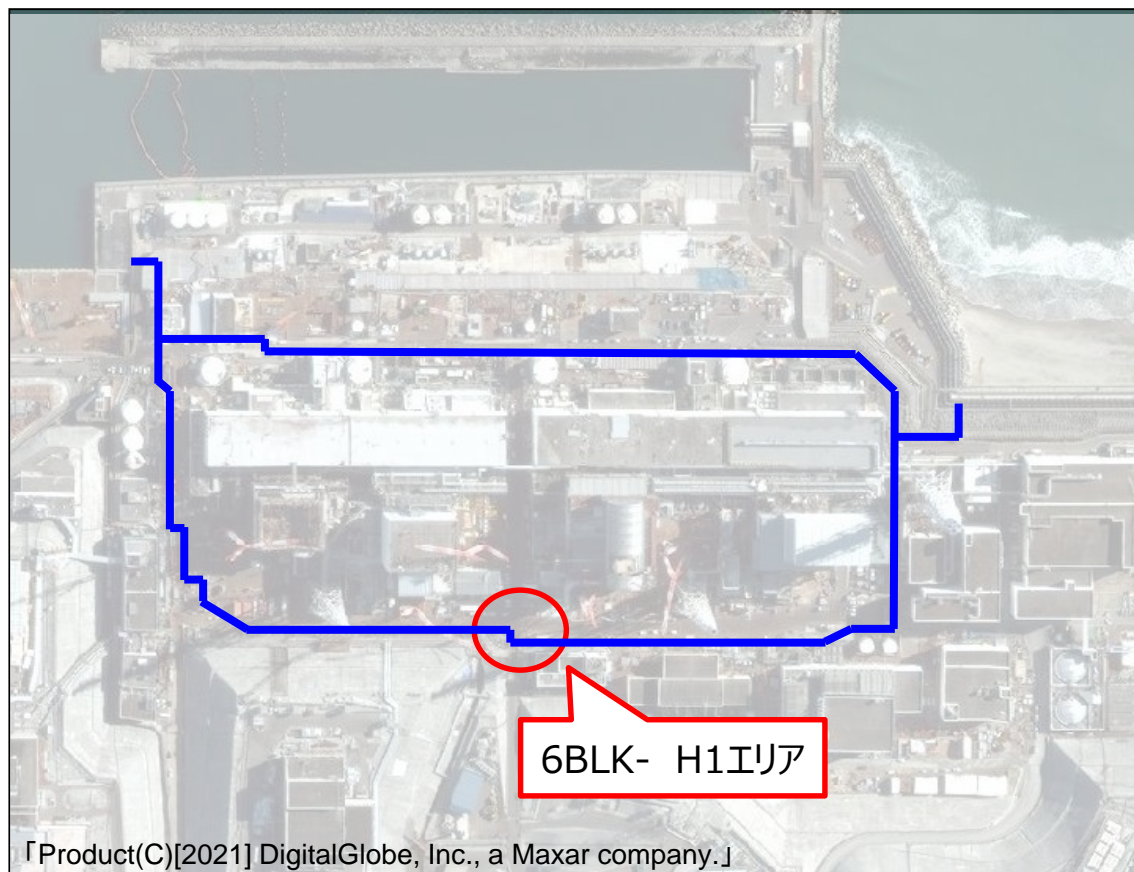


- 千島海溝津波襲来時の陸側遮水壁の冷媒（ブライン※）漏えいリスク低減を目的として、緊急時に遠隔で操作ができるよう、陸側遮水壁に電動弁を追設し、本日（2月15日）、電動弁の単体動作試験および全体的な統合動作試験を実施することとしていました。
- 10時18分頃、同試験のため、陸側遮水壁全体へのブライン供給を停止したところ、10時40分頃、ブライントank2基（プラント2系統の2A・2B）において液位低下していることを確認しました。その後、11時00分頃、ブライントankからブラインを陸側遮水壁へ送り出す弁を閉操作したところ、液位低下は停止いたしました。
- 現場確認を実施したところ、16時00分頃、6BLK-H1ブライン配管送り側（母管）の接続部からの漏えいを確認しました。
- また、2系統に分かれている陸側遮水壁設備のうち、ブライントankの水位低下が確認されていないプラント1系統については、16時08分、起動操作を行いました。
- 水位低下の原因については引き続き調査し、状況が分かり次第お知らせします。また、設備が停止しても陸側遮水壁が溶け始めるまでには数ヶ月程度の期間があることから直ちに陸側遮水壁に影響が出るものではないと評価しております。
- なお、本事案を踏まえ、本日予定していた同試験を中止しました。

※ブライン：塩化カルシウム水溶液（降雪時、道路に散布する融雪剤と同じ成分）

N ←



位置図



漏えい箇所（真上より）



漏えい箇所（直下）